

中学校 国語

令和3年度版

編集の趣旨と特色

光村図書

光村図書

内容解説資料

発行者：小泉 茂
発行所：光村図書出版株式会社
〒141-8675
東京都品川区上大崎 2-19-9
電話 03-3493-2111 (代表)
光村図書ウェブサイト
www.mitsumura-tosho.co.jp



印刷：協和オフセット印刷株式会社
デザイン：株式会社 dig
イラスト：新井陽次郎

子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

- ・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
- ・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- ・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
- ・生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- ・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

言葉で未来を切り開け。

歩き出す君に、
ゆるぎない言葉の力を。

新しい時代を生きる子供たちに、
私たちは次のような願いを込めて、
教科書を作りました。

変わり続ける時代。だからこそ、
自らを超えていける人に。
真実を見極められる人に。
新たな価値を生み出す人に。

目次

教科書の基本方針

自らを超えていける人に	4
真実を見極められる人に	8
新たな価値を生み出す人に	12

各領域の構成・内容の特色

話す・聞く／書く	16
読む（文学）	20
読む（説明文）	22
情報	24
読書	25
伝統的な言語文化	26
文法・言葉・漢字	28
表紙について	29

光村の国語 15のキーワード	30
----------------	----

①主体的・対話的で深い学び	②情報教育	③語彙力	④QRコード
⑤カリキュラム・マネジメント	⑥小中・中高連携	⑦防災教育	⑧キャリア教育
⑨SDGs	⑩特別支援教育への配慮	⑪拡大教科書への取り組み	
⑫色覚特性への配慮	⑬多様化・国際化	⑭人権教育	⑮デジタル教科書・教材
学習指導書・編集委員			
35			

4

学んだことを糧に、また新しい自分に出会えるように。光村の教科書では、「主体的・対話的で深い学び」を支える確かな手立てを示しました。

見つける

試行錯誤

次へ
つなげる

読み深める

捉える

振り返る

考えをもつ

読み深める

考えをもつ

遊び込む

観察・
 問題点
 筆者が行った実験や観察。表を基
 として考えるための。
 考えたことを文章にもしぬもの。
 結論に説得力をもたせるために、筆者はしを根拠と
 して、自分の考えを文章にもしぬもの。
 夫をしてしめるための。
 筆者の論の展開の特徴を、説明しもの。
 「事実と意見」としての言葉を使つてみたこと夫を挙げ
 説得力のある文章を書いたために使つてみたこと夫を挙げ

① 仮説の検証、表にまとめ

[illegible][illegible][illegible][illegible]

筆指が田分の考えを
得た事象は、
筆指に基いた
事象に基いた
事象に基いた
事象に基いた

事實
結果

意見

飯

7

「主体的・対話的で深い学び」を実現する

詳しくは

光村の国語 完全活用ガイド
「主体的・対話的で深い学び」を
通して育む 新しい時代の国語力

新しい「学習」(手びき)紙面

見開き構成の
紙面に生まれ
変わりました

平成28年度版

134

学習

学習活動
目標
文章の構成や展開の効果を考え、考えたことを文章にまとめよう。
筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。

次のようなことを考えながら、文章を読んでみよう。
「どんな問いが、どんな順序で出ているだろう。」
「どうしてこの順序になるのだろう。」
「次は、どんな問いが出てくるだろう。」



POINT 1

① 文章の構成と内容を捉えよう。
② 本文を、役割によって次の五つの部分に分けて
③ 前提となる知識 ④ 研究のきっかけと仮説
⑤ 仮説の検証 ⑥ 仮説の検証 ⑦ 仮説の検証
⑧ ⑨の部分を読み、筆者が、どのような事実を基に、どのような仮説を立てたかを確かめよう。

POINT 2

② 論の展開に着目し、その効果を考えよう。
① 仮説の検証①・②について、次の五つの観点で内容を
読み取り、表にまとめよう。

観点	仮説の検証①	仮説の検証②
検証の目的		
検証の方法		
結果		
考察・解釈		
問題点		

③ 考えたことを文章にまとめよう。
結論に説得力をもたせるために、筆者はどのような工夫をしているだろうか。本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめよう。

POINT 3

POINT 1

① 筆者の論の展開の特徴を、説明しよう。
「事実と意見」という言葉を使って書こう。
② 説得力のある文章を書くために使った工夫を挙げよう。

学習で用いる言葉

意見
結果に基づく
考察・解釈
「ここから、……と結論づけられます。」

事実
結果
実験や観察の
結果
「確認すること」
「事実がどのような考えの根拠となっているか。」
「事実の解釈や、事実から意見への展開に無理はないか。」
「異なるしくみを示しました。」
「はほとんどいっていませんでした。」
「結果となりました。」

仮説
ある現象を説明するために、仮に立てる説。検証を通して、事実と合うことが証明されると定説となる。
検証 実験・観察などによって得た事実と照合し、仮説を証明すること。
① 仮説・仮定・予想 ② 検証・証明・裏づけ

1年P134 「言葉」をもつ鳥、シジウカラ 「学習」ページ

POINT 1

学習過程が
ひと目でわかる

生徒の主体的な学びを促すために、
学習過程を明示するとともに、重点を
置く過程は強調して、身につける力の
焦点化を図りました。個↓集団↓個で
対話的に学びを深めます。

POINT 2

「学習の窓」では、汎用的な読みのポ
イントを、図解とともに示しました。
① 年間で学ぶ読みの力を一覧できます。
② 学習用語が使用語彙になるよう、取
り立てて示しています。

POINT 3

自分の言葉で書く
振り返り
「何ができるようになったか」を自
分の言葉で書く設問です。理解したこ
とを言語化したり、他の場で活用(転
移)したりすることで、資質・能力を
確実に定着させます。

教科書全体も 「見通す」+「活用する」

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」として、どのような学習活動を行うかを把握する。

単元	学習活動	学習成果
1. 国語の基礎	国語の基礎を学ぶ	国語の基礎を学ぶ
2. 国語の発展	国語の発展を学ぶ	国語の発展を学ぶ
3. 国語の応用	国語の応用を学ぶ	国語の応用を学ぶ
4. 国語の総合	国語の総合を学ぶ	国語の総合を学ぶ
5. 国語の探究	国語の探究を学ぶ	国語の探究を学ぶ
6. 国語の表現	国語の表現を学ぶ	国語の表現を学ぶ
7. 国語の文化	国語の文化を学ぶ	国語の文化を学ぶ
8. 国語の歴史	国語の歴史を学ぶ	国語の歴史を学ぶ
9. 国語の未来	国語の未来を学ぶ	国語の未来を学ぶ
10. 国語の総合	国語の総合を学ぶ	国語の総合を学ぶ

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」として、どのような学習活動を行うかを把握する。

単元	学習活動	学習成果
1. 国語の基礎	国語の基礎を学ぶ	国語の基礎を学ぶ
2. 国語の発展	国語の発展を学ぶ	国語の発展を学ぶ
3. 国語の応用	国語の応用を学ぶ	国語の応用を学ぶ
4. 国語の総合	国語の総合を学ぶ	国語の総合を学ぶ
5. 国語の探究	国語の探究を学ぶ	国語の探究を学ぶ
6. 国語の表現	国語の表現を学ぶ	国語の表現を学ぶ
7. 国語の文化	国語の文化を学ぶ	国語の文化を学ぶ
8. 国語の歴史	国語の歴史を学ぶ	国語の歴史を学ぶ
9. 国語の未来	国語の未来を学ぶ	国語の未来を学ぶ
10. 国語の総合	国語の総合を学ぶ	国語の総合を学ぶ

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」として、どのような学習活動を行うかを把握する。

先生のアドバイス

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」として、どのような学習活動を行うかを把握する。

巻頭 「学習の見通しをもつ」

巻末 「学習の窓」一覧

一年間の国語学習を見通す
身につける「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、簡潔に示しました。
各領域の学習過程に沿って、学びの深まりを実感できます。

学習のポイントを体系的に見渡す
各領域と「情報の扱い方」の学習のポイントを、一覧にしました。
「読み方」や「思考の方法」などを、視覚的に見渡すことができます。

巻末 「学習を振り返ろう」

学んだことを確認する「力試し」
各学年の最後に、三領域の学習を確認する課題を新しく位置づけました。
学んだことを他の課題に応用すること
で、力の定着を図り、「何ができたよ
うになったか」を自覚できます。

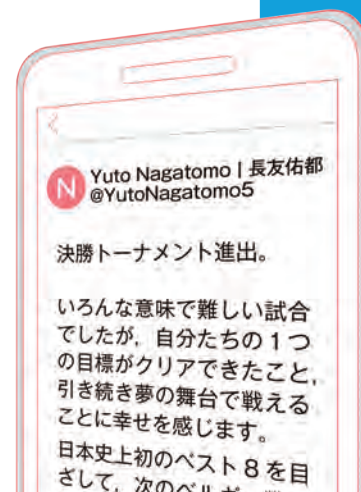
情報の信頼性を確かめる



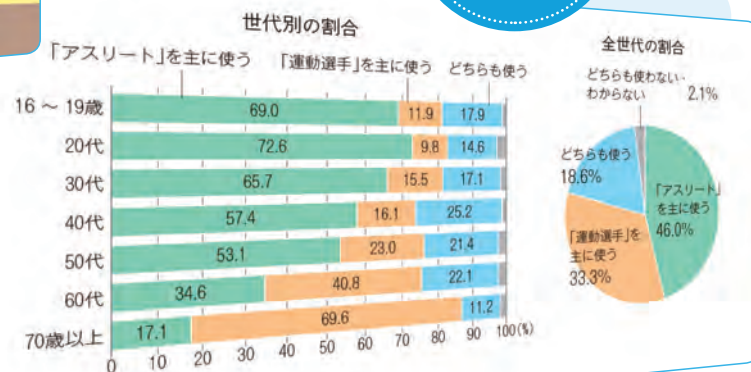
メディアの特徴を知る

急速に情報化する社会の中で、情報を適切に読み解き、真実を見極める力が求められています。そのためには、物事を多角的に分析し、根拠に基づいて判断する論理的思考が大切です。

子供たちが、希望をもってAの時代に漕ぎ出せるように。光村の教科書は、論理的思考や情報活用力の基礎となる言葉の力を鍛えます。



図表を読み取る



比較する



情報を整理する



情報を疑い、適切に読み解く

詳しくは

光村の国語 完全活用ガイド
論理的思考力を育む「情報」教材

「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」

文章における「情報の扱い方」をズバリ解説

学習指導要領で
新設された
「情報の扱い方」
についての
教材です

思考のレッスン2
原因と結果

思考のレッスン1
意見と根拠

情報整理のレッスン
比較・分類

何を引き起こす元になるものを「原因」、それによって引き起こされた状態を「結果」という。話の筋道を理解するためには、原因と結果の関係を捉えることが大切だ。

A町の秋祭りは、B公園の前がたいへん混雑した。それによって、子供たちが迷子となるなどの混乱も起きた。また、残念なことに、公園の草花が踏まれて傷ついてしまったという報告もある。町民向けの割引券を公園入り口で配布し、公園の前の自動車も止める人が多かったことが原因と考えられる。

原因と結果がうまくつながっているかを整理してみましょう。

原因と結果がうまくつながっていない。原因と結果を表す言葉を使っても、そのつながりに無理がある場合もある。次のことを確かめよう。

「あつたの理由ではないか」

田口さんは、新しい給菓機を使ったら、成績が上がったんだって。

話の筋道を理解したり、筋道を立てて書いたり、話したりするときには、次のことに気をつけよう。

話の中に、幾つもの事があるか。
それぞれの事象がどのような言葉でつながっているか。
原因と結果のつながりに無理はないか。

原因と結果がうまくつながっていない。

先生が着る回数が多いから、うすはく、忘れ物が多い。先生が注意するたびに、忘れ物が増える原因だ。

冷たいアイスがなさんで売れると、アイスクリューもよく売れるんだよ。

原因と結果がうまくつながっていない。

公園の前が混雑した。町民向けの割引券を公園の入り口で配布した。公園の前の自動車も止める人が多かった。公園の草花が踏まれて傷ついた。子供たちが迷子になった。

原因と結果を表す言葉

……によって、……のために、……から、……となつたのは、……のためと考えられる。原因として考えられるのは、……。この結果から考えられる原因は、……。だ。

問題1 次文には、幾つもの事象が示されているだろう。それは、どのような言葉で、どのような関係でつながっているだろう。

小笠原諸島は、一度は大陸と陸続きになったことがない火山島である。隔離された環境によって、島の生き物たちは独自に進化した。そのため、小笠原諸島には、安、形、性質が本州とは異なる生き物が数多くいる。

問題2 次文は、話の筋道に無理がある。どのような反論が考えられるか、話し合ってみよう。

① 毎日遠く山を登るようになったら、急に絵が上達した。

② この川の水質がよい原因として考えられるのは、イワナが多く生息していることだ。

③ 私のクラスでは、図書館を利用する回数が多い人は、ひと月に買う本の冊数が多い。図書館を利用することによって、本を買う機会が増えることがわかった。

1年P136
「思考のレッスン2 原因と結果」

いつでも活用できる
折り込み構造

さらに巻頭では……

思考の地図

思考の地図

思考の地図

思考の地図

思考の地図

思考の地図

1年P9「思考の地図」

問いを立て、論理的に考える

テレビニュース

ネットニュース

SNS

雑誌

メディアを比べよう

日本16強

2年P60「メディアを比べよう」

人工知能との未来

人間と人工知能と創造性

3年P124「人工知能との未来」、P126「人間と人工知能と創造性」

情報を読み取って文章を書こう

3年P172「情報を読み取って文章を書こう」

図表の読み取り方や、メディアの特性、情報の信頼性の確かめ方などを学びます。

文章を比較して読む活動を複数設計しました。対象を多角的に吟味し、評価する力を養います。

根拠を明確にして、自分の考えを書く教材を随所に設けました。

特設教材「情報社会を生きる」

多角的に吟味して読む

根拠に基づき、論理的に伝える

≪ 新たな価値を生み出す人に

多様化、複雑化する現代社会。子供たちは、答えが一つに決まらない問いにも向き合っていなくてはなりません。だからこそ、先人の知恵を借りたり、他者と協働したりする力が必要です。言葉を通して人とつながり、過去に学んで、新たな時代の価値を創造できるように。光村の教科書では、豊かな感性とコミュニケーション能力を育む教材を充実させました。

読書

言語
文化

協働

感性

語彙

対話

人や時代と言葉でつながる

「聞き上手になろう」

相手の思いや考えを能動的に引き出す
「聞き方」のコツ

聞き上手になろう

話す聞く
質問で話を引き出す

聞き上手な人は、ただ黙って話を聞くだけでなく、たくさん質問で話を引き出し、対話を発せることができ、ここには、そんな聞き上手になることを目指して、質問のしかたやきき方の工夫を学ぼう。

【目標】

●相手の動きや仕組を意識して話す。

●聞いたことを基に考えをまとめ、質問のしかたを工夫して話す。

- 1 きき方の工夫や質問の種類を知る
右の林さんへの質問を、左のページを読んで考えてみよう。
- 2 対話の練習をする
①「二人」になり、話し手と聞き手に分かれる。
②話し手が簡単なスピーチをする。「一分」
- 3 学習を振り返る
④役割を分けて、②③をくり返す。

「きき方の工夫」

●相手の動きや仕組を意識して話す。

●聞いたことを基に考えをまとめ、質問のしかたを工夫して話す。

聞き上手な人は、ただ黙って話を聞くだけでなく、たくさん質問で話を引き出し、対話を発せることができ、ここには、そんな聞き上手になることを目指して、質問のしかたやきき方の工夫を学ぼう。

「質問の種類」

質問には、大きく二つの種類がある。

- 絞る質問 事実や考えを確かめるとき
答えが「はい」「いいえ」で済むような質問や、選択肢を示して選ばせる質問（閉じた質問）
「クロースド・クエスチョン」ともよばれる。
「○○ですか。（はい/いいえ）」
「○○△△のどちらですか。」「○○です/△△です」
- 広げる質問 話題を広げたり深めたりするとき
答え方を指定せず、相手に自由に答えさせる質問
「開いた質問（オープン・クエスチョン）」ともよばれる。
「そのとき、どう思いましたか。」
「どうして...なのですか。」
「くわしく言う、という感じが、いいですね。」
「例えば...という場合はどうですか。」
「他にどんなことがありますか。」

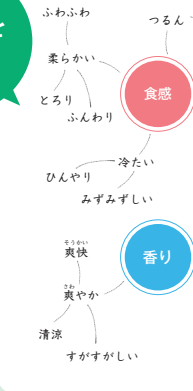
※質問の順序
● 質問の順序
● 質問の順序
● 質問の順序

「言葉を集める・比べる・選ぶ」

語彙を増やし、語感を磨くための具体的な方法を提案

語感を磨く

「予想」と「予期」
結果は「ア」したとおりだった。
明日の天気を「イ」する。
せぬ事態にとまどう。



語彙を増やす

詳しくは
光村の国語 完全活用ガイド
学びを支える語彙力

古典導入「古典の世界」

古典と現代の子供たちをつなぐ、
学習への期待が高まる導入

古典との
新鮮な出会い
を演出する
新教材です

古典の世界

古典は、長い年月を超えて、今日まで読み継がれてきた。そして、時代の中で懸命に生きる人間の姿とともに、人々の心や感じ、豊かな想像力などを見ることが出来ます。現代と言葉の違いは違っていますが、人の心や感情は、いつの時代も変わらなく私たちの胸を打つものです。和歌や物語、随筆など、三千年間さまざまな種類の古典作品にふれ、「今」「こころ」にふれたいものを、想像のつばさを広げてみましょう。

この時代の人は、
どんなことを考えて
いたのだろうか。

読書教材「読書生活を豊かに」

— 思わず本に手を伸ばしたくなる、楽しい仕掛けが満載

1年 本の中の中学生

中学生が登場する本の一部を紹介し、同じテーマで読み広げていく楽しさを伝えます。



2年 翻訳作品を 読み比べよう

「星の王子さま」の二つの翻訳を読み比べるところから、世界の名作へといざないます。

1年 P156 「古典の世界」

「話すこと・聞くこと」の系統とポイント

発表	1年	2年	3年
発表 声を届ける			
聞く 情報を的確に聞き取る	紹介 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	説明・提案 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	主張・提案 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける
話す 話の構成を工夫しよう	話し合い 話し合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	議論 異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	議論 話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く
対話・質問	質問 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	インタビュー 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	対話 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る
総合(まとめ)	発表 一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	議論 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	発表 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする

「書くこと」の系統とポイント

記録・調べ方	1年	2年	3年
情報整理 情報を整理して書く わかりやすく説明する	説明 情報を整理して書く 職業ガイドを作る	紹介 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	編集 文章の種類を選んで書く 修学旅行記を編集する
創作 詩を作ろう	創作 詩を作ろう	創作 短歌を作ろう	創作 俳句を作って楽しむ
手紙 項目を立てて書く 案内文を書く	手紙・電子メール 表現を工夫して書く 手紙や電子メールを書く	推論 論理の展開を整える	
推敲 読み手の立場に立つ	推敲 表現の効果を考える		
意見・批評 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	意見 根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く	批評 多角的に分析して書く 説得力のある批評文を書く	
評価・小論文 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	鑑賞文 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	小論文 情報を読み取って文章を書く グラフを基に小論文を書く	
創作 構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く	創作(物語) 構成や展開を工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	編集 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	
総合(まとめ)	説明 一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	報告 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	

「主体的に聞く力」を育てる
対話・質問教材

三年間を通して「聞き上手になろう」の系列を新設しました。相手の思いや考えを引き出すための質問力(主体的に聞く力)を育み、対話的な学びの基礎を築きます。

相手の言葉を引用して質問する

ききたい内容や質問の意図が明確になり、話し手が答えやすくなる。

他の言葉で言い換えて確かめる

話の内容を聞き手が言い換えることで、話を十分に理解していることを伝えることができる。

それはつまり...ということですか。

妹を連れての移動が大変だったと思うけど、特に苦労したのはどんなところですか。

それはなぜですか。

理由は尋ねる

それはなぜですか。

思いや考えをきく

そのとき、どう思いましたか。

詳しく教えてください。

言い換えて促す

それはどういふことですか。

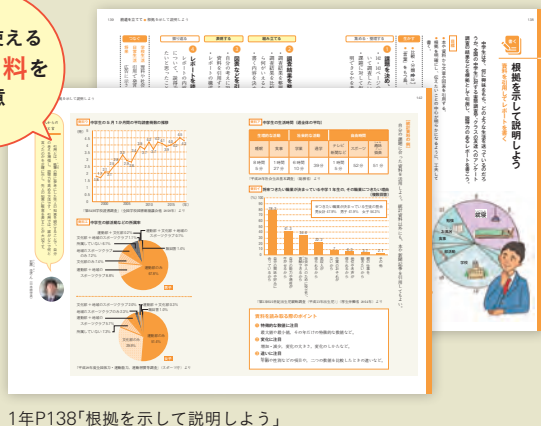
具体化を促す

上:1年P117「質問で話を引き出す」
左:2年P113「質問で思いや考えを引き出す」

現代に必要な
書く力を育てる

情報活用力を育むため、統計資料を引用してレポートを書く教材や、情報を整理・分析して小論文を書く教材など、図表や情報を読み解き、関連づけて書く活動を多数設定しました。

すぐに使える
統計資料を
用意



言葉に託された、人の思いにふれる
想像力を豊かにする文学的文章

「でも、じゃあ、
だからこそ
話そうよ。」

一年「シンシユン」



「世界は、
楽しいこと、悲しいこと、
美しいこと
で満ち満ちている。」

二年「アイスプラネット」



森の匂いがした。
秋の、夜に近い
時間の森。

三年読書「羊と鋼の森」

1年	2年	3年
新 朝のりレー [詩] 谷川俊太郎 言葉に出会うために 野原はうたう [詩] 工藤直子 新 シンシユン [物語] 西加奈子 学びをひらく 言葉に立ち止まる 詩の世界 [詩・解説] (新) 序文・谷川俊太郎 新 一枚の絵 木坂涼 新 朝 吉田加南子 新 未確認飛行物体 入沢康夫	見えないだけ [詩] 牟礼慶子 広がる学びへ アイスプラネット [小説] 椎名誠 言葉と向き合う 新 短歌に親しむ [短歌・解説] 栗木京子 短歌を味わう(6首) 言葉の力 [随筆] 大岡信	新 世界はうつくしいと [詩] 長田弘 深まる学びへ 握手 [小説] 井上ひさし 言葉とともに 俳句の可能性 [俳句・解説] 宇多喜代子 俳句を味わう(9句)
心の動き 大人になれなかった 弟たちに…… [物語] 米倉斉加年 星の花が降るころに [小説] 安東みきえ 音読を楽しもう 新 大阿蘇 [詩] 三好達治 自分を見つめる 少年の日の思い出 [小説] ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳 新 随筆二編 [随筆] (空／えんぼう) 工藤直子 新 さくらの はなびら [詩] まど・みちお	人間のきずな 盆土産 [小説] 三浦哲郎 字のない葉書 [随筆] 向田邦子 音読を楽しもう 新 月夜の浜辺 [詩] 中原中也 表現を見つめる 走れメロス [小説] 太宰治 新 木 [詩] 田村隆一	状況の中で 挨拶―原爆の写真によせて [詩] 石垣りん 故郷 [小説] 魯迅／竹内好訳 音読を楽しもう 初恋 [詩] 島崎藤村 未来へ向かって 温かいスープ [随筆] 今道友信 わたしを束ねないで [詩] 新川和江
読書教材 (本の中の子供・考える人になろう) 新 あと少し、もう少し 瀬尾まいこ 新 西の魔女が死んだ 梨木香歩 新 君たちはどう生きるか 吉野源三郎	読書教材 (翻訳作品を読み比べよう) 新 星の王子さま サン＝テグジュペリ 内藤濯・池澤夏樹訳	読書教材 (「私の一冊を探しにいこう」) 新 羊と鋼の森 宮下奈都
資料編 坊っちゃん 夏目漱石 夏目漱石の生涯	資料編 新 形 菊池寛 菊池寛の生涯	資料編 高瀬舟 森鷗外 森鷗外の生涯

近代文学の
系列を新設

「困難は
分割せよ。」
三年「握手」



もともと地上には
道はない。
歩く人が多くなれば、
それが道になるのだ。

三年「故郷」

私は、
あんな美しい「青空」を
見たことがなかった。

一年「随筆二編」より「空」

雨は蕭々と降っている

一年「大阿蘇」

言葉の背後から
生命への賛歌が
聞こえてくるようです。

二年「短歌に親しむ」

新時代の説明的文章

視野を広げる……

文章の内容や論理の展開を正確に捉える系列

論理の吟味……

筆者の論理展開を客観的・批判的に読み解く系列

価値の創造……

筆者の考えを基に対象を評価し、新たな価値を見いだす系列

1年

新しい視点で
ダイコンは大きな根？
ちよつと立ち止まって

説明 稲垣栄洋
説明 桑原茂夫

言葉に立ち止まる
新 比喻で広がる言葉の世界

説明 森山卓郎

筋道を立てて
新 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ

記録 鈴木俊貴

価値を見いだす
新 「不便」の価値を見つめ直す

意見 川上浩司

読書教材(本の中の中学生・考える人になろう)
新 プラインドの向こうに見える光

小林良介
新 たのしい制約 佐藤雅彦

資料編
幻の魚は生きていた

中坊徹次

2年

多様な視点から
新 クマゼミ増加の原因を探る

報告 沼田英治

情報社会を生きる
新 「自分で考える時間」をもとう

池上彰

論理を捉えて
モアイは語る——地球の未来

論説 安田喜憲

価値を語る
君は「最後の晚餐」を知っているか

評論 布施英利
新 「最後の晚餐」の新しさ

解説 藤原えりみ

読書教材(研究の現場によここ)
新 日本に野生のゾウやサイがいた頃……

富田幸光(研究者) 川端裕人(取材)
新 クモの糸でバイオリン

大崎茂芳

資料編
生物が記録する科学
——バイオロギングの可能性

佐藤克文

3年

視野を広げて
作られた「物語」を超えて

論説 山極寿一

情報社会を生きる
新 実用的な文章を読もう……

新 報道文を比較して読もう……

実社会 比較

自らの考えを
新 人工知能との未来

論説 羽生善治
新 人間と人工知能と創造性

論説 松原仁

価値を生み出す
誰かの代わりに

論説 鷲田清一

読書教材(本は世界への扉)
エルサルバドルの少女ヘスース

長倉洋海
新 紛争地の看護師

白川優子

資料編
二つの悲しみ

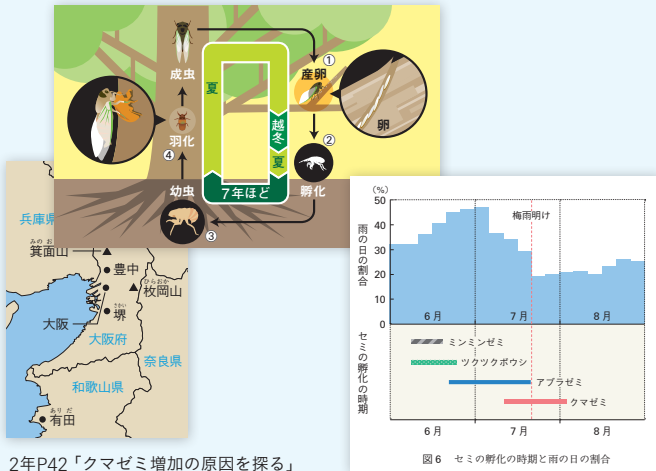
杉山龍丸
アラスカとの出会い

星野道夫

POINT

1 文章と図表を結び付ける

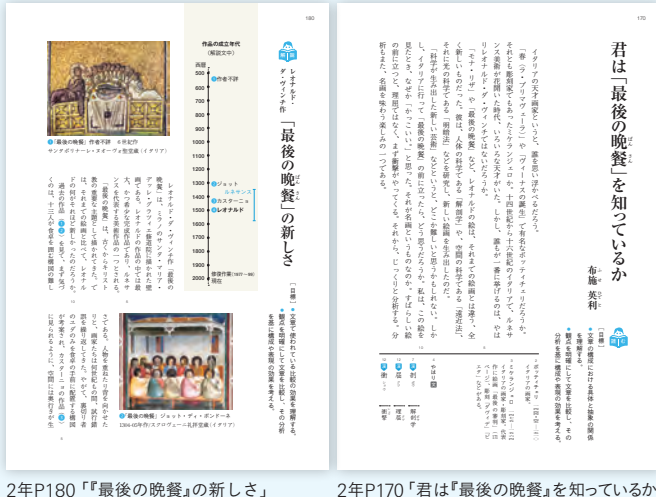
模式図、地図、写真、表、グラフなど、多様な図表を用いた文章を掲載。文章と図表を結び付けて読む力を育みます。



2年P42「クマゼミ増加の原因を探る」

2 比較して読む・批判的に読む

比較して読むことができる教材を複数用意しました。情報をうのみにせず、複数の視点で対象を吟味したり、評価したりする力を養います。



3 実社会で役立つ力をつける

パンフレットや取扱説明書などの実用文や、ウェブサイトの記事を読む教材を用意しました。情報の信頼性を確かめる方法を身につけられます。



ウェブサイトで
続きを読む
ことができます。

実践で学ぶ新しい「情報」教材

詳しくは

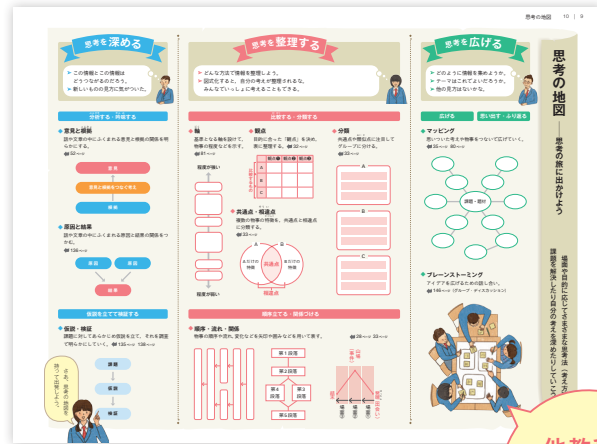
光村の国語 完全活用ガイド
論理的思考力を育む「情報」教材

新しい学習指導要領では、「情報の扱い方に関する事項」が新設されました。急速に情報化が進み、多様化する社会の中で必要となる力を、無理なく身につけられるよう、系統立てて教材化しました。

見通しをもつ

思考の地図

巻頭に、さまざまな場面では使える思考ツールや情報の可視化の方法を示しました。



1年P9「思考の地図」

他教科や日常生活でも使える

理解する

情報整理のレッスン・思考のレッスン

よくある日常の「困った場面」を出発点に、見開きでポイントを解説しました。



1年P136「思考のレッスン2 原因と結果」

活用・定着する

情報社会を生きる

社会生活の中で、情報を適切に読み解く方法を実践的に学びます。



2年P60「メディアを比べよう」

思わず「本」に手を伸ばしたくなる 読書教材の楽しい仕掛け

教科書から広がる新しい読書教材

作品の一部を紹介して続きを読むように促したり、自分に合った本の探し方を提案したりするなど、教材の示し方を工夫しました。

魅力的な読書活動

「本を紹介する」「感想を共有する」「読書生活をデザインする」の三つの系統で、取り組みやすく、意義のある読書活動を位置づけました。

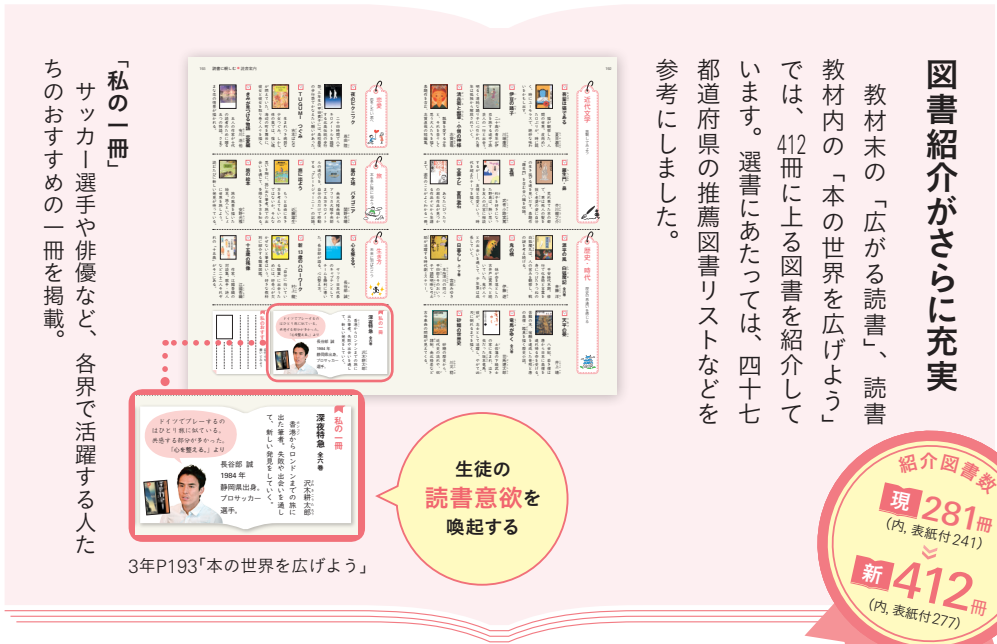


2年P84「翻訳作品を読み比べよう」



2年P83「読書を楽しむ」

1年P83「読書を楽しむ」

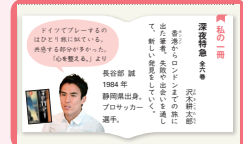


図書紹介がさらに充実

教材内の「広がる読書」、読書教材内の「本の世界を広げよう」では、412冊に上る図書を紹介しています。選書にあたっては、四十七都道府県の推薦図書リストなどを参考にしました。

紹介図書数
現 281冊
(内、表紙付241)
新 412冊
(内、表紙付277)

生徒の
読書意欲を
喚起する



3年P193「本の世界を広げよう」

本に手を
伸ばすように

続きは
こちら

星の王子さま

サンテグジュペリ

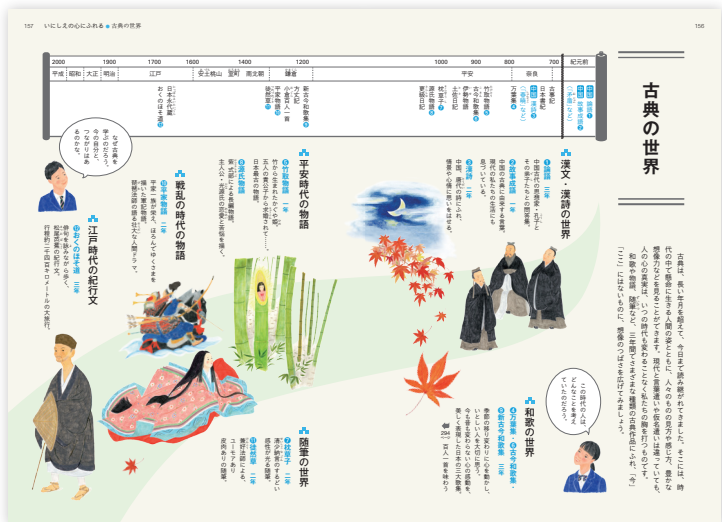
池澤夏樹訳



日本語の美しさを味わう 古典や詩歌との新鮮な出会い

古典の世界へのいざない

古典の導入教材として、「古典の世界」を新設。
中学校三年間で学習する古典を、華やかなイラストとともに見渡せるようにしました。これから始まる古典学習への期待を高めます。



1年P156「古典の世界」

古典教材がさらに充実

一年

古典への入り口にふさわしい作品を追加。

新「古典の世界」

新「百人一首を味わう」(資料編)

二年

作品の世界観を掘り下げる章段を追加。

・「枕草子」

新「うつくしきもの」「月のいと明かき」

・「平家物語」

新「敦盛の最期」(資料編「古典の世界を広げる」)

三年

高校古典への掛け橋として名作を紹介。令和の典拠、「万葉集」梅花の歌の序文も掲載。

新「古典名句・名言集」

時に、初春の令月にして、
気淑く風和らぎ、
梅は鏡前の粉を披き、
蘭は珮後の香を薫らす。



季節のしおり

四季の言葉や詩歌を挿絵とともに紹介。生徒の感性を揺さぶるような名文や情緒あふれる言葉を厳選しました。



言葉に
立ち止まる
きっかけに

1年P94「季節のしおり 夏」
2年P27「季節のしおり 春」

中扉・後見返し

日本語の豊かさや美しさにふれる場として、中扉に「時を表す言葉」(一年)、「色の名前」(二年)、「季節の言葉」(三年)を紹介し、後見返しで一覧にしました。



季節の言葉 春隣 | 植物, 光, 大気など自然の全てから春の訪れが感じられる様子。

豊富な図版資料

各学年、古典の世界を感じ取るための図版資料を豊富に掲載しています。



1年「蓬萊の玉の枝」図版資料
映画「かくや姫の物語」(高畑勲)



3年「和歌の世界」図版資料「百人一首かるた」



2年「源氏と平家」図版資料 大鎧

1年

時を表す言葉



2年

色の名前



3年

季節の言葉



生きて働く力になる 言語生活を豊かにする言葉の学び

導入を楽しむ

学習の導入は、親しみやすいイラストを用いて、「楽しく」学習に取り組むことができるように工夫しています。

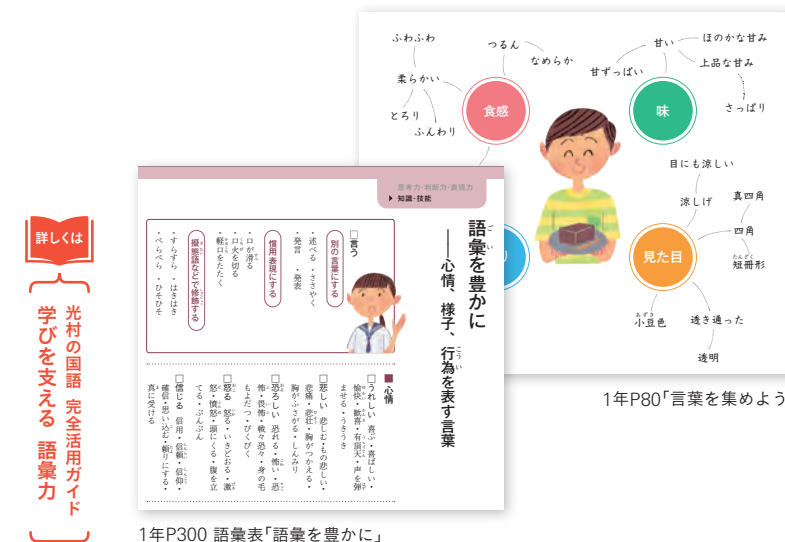


3年P117「慣用句・ことわざ・故事成語」

2年P59「単語をどう分ける？」

語彙力を高める

語彙の量と質を高めるための教材を各学年に設けています。また、考えたり、表現したりするときに役立つ語彙表を用意しました。



1年P80「言葉を集めよう」

1年P300 語彙表「語彙を豊かに」

他の学習や日常に生かす

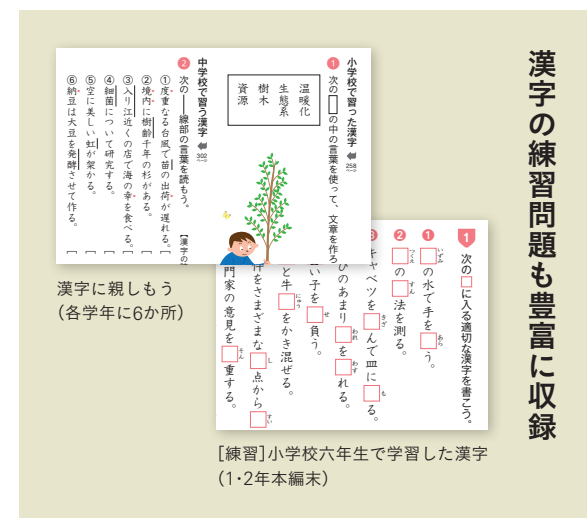
学んだことを、単に知識として覚えるのではなく、三領域や他教科の学習、日常生活で活用していくためのポイントを示しています。

一年P79「指示する語句と接続する語句」

読むことには生かす
接続する語句に着目して読む

説明的な文章を読むときには、接続する語句が、文

漢字の練習問題も豊富に収録



〔練習〕小学校六年生で学習した漢字
(1・2年本編末)

表紙について

今回の表紙画を制作するにあたり、編集部と相談を重ね、テーマを「つながる世界」としました。

一年から三年まで、一年ごとにそれぞれ、海より生まれ、大地を駆け回り、空へと羽ばたく、という個別のテーマをもたせました。横に並べると三枚の絵が一つにつながる構成で世界のつながりを表現し、さらに三枚の絵を通して、小さな世界から少しずつ他者とながら、広い世界と出会い、理想へ向かって進んでいく、人間が成長するイメージを重ねました。自分、家族、友達、地域、学校、食べ物、お金、歴史、政治、日本、自然、地球、一見ばらばらに思える物事は、実は大きく緩やかにつながっています。他者とのつながりを考えるとき、言葉がもたらす影響は大きく、言葉によって私たちは他者を、そして社会を知っていきます。世界と出会うとき、人はおそらく想像を超えた広さと美しさに触れ、そこからさまざまなことを教えられ、次には誰かに伝えて

いきます。言葉をもって。理想へ向かって進むとき、短い言葉で的確に伝える技を身につけていたら、そのことは自分を助け、他者をも助けることができるかもしれません。自分とそれ以外をつなぐ境界としての言葉は、うまく使いこなせば、この上なく便利な道具として自分を守る武器となり、反対にたやすく人を傷つけることもできます。言葉の力を使ってどう世界とつながるか、いかに伝えるかということは、受け取ることに加え、発していく機会が増えた現代社会においてさらに重要性を増すでしょう。

あなたの言葉は、誰かに届く。

だからこそ国語を学び、受け取る力に増してアウトプットの力をより大切に育ててほしいと願います。少しだけ先に大人になった者より、未来の大人になる中学生へ。

言葉の力を味方につけて、正しい知識と知恵をもって美しい世界とつながり、一人一人が自分の物語を力強く羽ばたけますように。そんなエールを贈る気持ちで描きました。



生駒さちこ（いこみさちこ）

神戸市出身。会社員を経てイラストレーターになる。セツ・モードセミナー卒。二〇〇六年よりフリーランス。挿画、広告、テキストスタイルなどさまざまな分野で活動中。水彩による一枚絵、空気感のある絵を得意とする。鉛筆、三色カラーシャープペンシルによるドローイングにも力を入れる。二〇〇九年より関西出身のイラストレーターユニット「なりゆきサーカス」に参加。
<https://coconatz.com/>



3年

2年

1年

15のキーワード

新版教科書を編集するにあたり、生徒たちを取り巻く今日的教育課題に対して、さまざまな配慮を行いました。

1 主体的・対話的で深い学び

詳しくは
活用ガイド
4・16ページ



「話す・聞く」「書く」や、「学習」(手書き)の紙面を一新。学びを見通し、対話的に深め、習得した資質・能力を主体的に活用できる構成にしました。

2 情報教育

詳しくは
活用ガイド
24ページ



学習指導要領に新設された「情報の扱い方」を系統的に教材化した。情報を適切に読み解き、論理的に考える力を育みます。

3 語彙力

詳しくは
活用ガイド
28ページ



「語句の量を増やす」「語感を磨く」「話や文章の中で使う」に重点を置き、教材・資料をさらに充実。

4 QRコード

詳しくは
活用ガイド



教科書に記されたQRコードをタブレット端末などで読み取ると、動画や資料を閲覧できます。理解を助け、心を動かすコンテンツが満載です。

5 カリキュラム・マネジメント

学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、課題発見・解決能力を育み、教科横断的に資質・能力を伸ばせるよう、話題や題材、学習活動を工夫しました。



1年P126
「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ→理科



2年P180
「最後の晩餐」の新しいさ→美術

詳しくは
「資質・能力系統表」
「観点別 内容と特色」

6 小中連携・中高連携

詳しくは
「光村の国語」
「構造と系統」

一年巻頭には、小学校で学習した内容を確認し、中学校へのスムーズな接続を図るための特設教材を位置づけました。また、三年には、論説や古典など、高校への橋渡しになる教材を位置づけています。

- ・小学校との接続 一年「言葉に出会うために」
- ・高校との接続 三年「古典名句・名言集」他

7 防災教育



災害時の情報発信・情報収集について考える教材などを掲載し、防災意識の向上に努めました。

二年P62「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」
二〇一一年に起きた東日本大震災での事例を基に、身近な地域を想定した災害対策を考えます。

8 キャリア教育



2年P34「多様な方法で情報を集めよう」

「話す・聞く」「書く」教材では、その道のプロが伝授する話し方や書き方のコツを紹介しました(「達人からのひと言」)。二年には、職業ガイドを作る活動も設け、将来への展望や職業観を育てる一助としました。

9 SDGs

教科書は、世界への扉です。視野を広くもち、地球市民として持続可能な社会のために行動できる主体を育てるために、SDGsに関連するテーマを幅広く取り上げました。

SDGs(持続可能な開発目標)と関連する教材
*1~17 その他、関連項目 *話すこと・聞くこと「書くこと」教材は(一)でテーマを示した。

詳しくは
「観点別 内容と特色」
「資質・能力系統表」

1 貧困をなくそう

3年 リオの伝説のスピーチ(子供の貧困)
3年 エルサルバドルの少女 ヘスース 4 16 13

2 飢餓をゼロに

1年 大人になれなかった弟たちに…… 16

3 すべての人に健康と福祉を

1年 根拠を示して説明しよう(睡眠時間)
3年 紛争地の看護師 16 17

4 質の高い教育をみんなに

3年 多角的に分析して書こう
(地域社会での学び)
3年 エルサルバドルの少女 ヘスース 1 16

5 ジェンダー平等を実現しよう

3年 わたしを束ねないで

6 安全な水とトイレを世界中に

1年 幻の魚は生きていた
(水の生態系の保護・回復)

8 働きがいも経済成長も

2年 多様な方法で情報を集めよう(職業体験)
2年 根拠の適切さを考えて書こう(24時間営業)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

2年 メディアを比べよう(情報通信技術)
2年 メディアの特徴を生かして情報を集めよう
(災害時の情報発信) 11
3年 人間と人工知能と創造性

10 人や国の不平等をなくそう

1年 ブラインドの向こうに見える光
3年 握手 16
3年 作られた「物語」を超えて 15 16
3年 故郷
3年 温かいスープ 16

11 住み続けられるまちづくりを

2年 魅力的な提案をしよう(町の魅力紹介)
2年 メディアの特徴を生かして情報を集めよう
(災害時の情報発信) 9
2年 立場を尊重して話し合おう(清掃ボランティア)
3年 合意形成に向けて話し合おう
(地域のお年寄りとの交流) 17

12 つくる責任 つかう責任

1年 「不便」の価値を見つめ直す
1年 モアイは語る——地球の未来 15
3年 説得力のある構成を考えよう
(プラスチックごみと海洋汚染) 14

13 気候変動に具体的な対策を

1年 学習を振り返ろう
2年 流水と私たちの暮らし
2年 クマゼミ増加の原因を探る 15
3年 リオの伝説のスピーチ(地球温暖化) 1

14 海の豊かさを守ろう

3年 説得力のある構成を考えよう
(プラスチックごみと海洋汚染) 12

15 陸の豊かさを守ろう

2年 クマゼミ増加の原因を探る 13
2年 モアイは語る——地球の未来 12
3年 作られた「物語」を超えて 10 16

16 平和と公正をすべての人に

1年 大人になれなかった弟たちに…… 2
2年 字のない葉書
3年 握手 10
3年 作られた「物語」を超えて 10 15
3年 挨拶——原爆の写真によせて
3年 エルサルバドルの少女 ヘスース 1 4
3年 紛争地の看護師 3 17
3年 温かいスープ 10
3年 二つの悲しみ

17 パートナリシップで目標を達成しよう

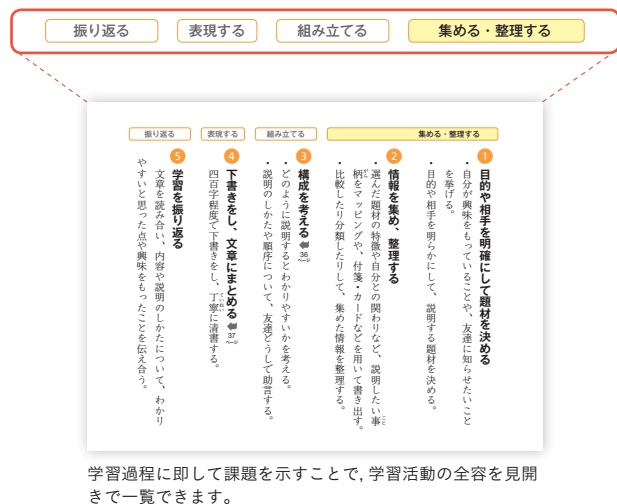
1年 話題や展開を捉えて話し合おう
(よい話し合いのための三か条)
3年 報道文を比較して読もう
(五輪ボランティア)
3年 合意形成に向けて話し合おう
(合意形成の方法) 11
3年 誰かの代わりに
3年 紛争地の看護師 3 16

10 特別支援教育への配慮

特別支援教育の観点から、全学年・全ページにわたり、佐島毅先生（筑波大学准教授、専門・特別支援教育）の校閲を受け、編集しました。

学習の流れがわかりやすい紙面

学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そこで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の「学習」の紙面を統一し、見開きで活動の全容が見えるようにしました。学習のステップをわかりやすく示しています。



用字や書体に関する配慮

漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、ユニバーサルデザイン書体（UD書体）で視認性を高めました。



本文には、教科書用にデザインした自社作成のフォントを使用。手書き文字との差が学習上の支障とならないよう配慮しました。



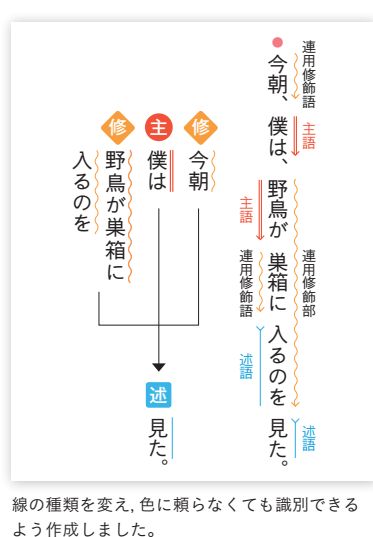
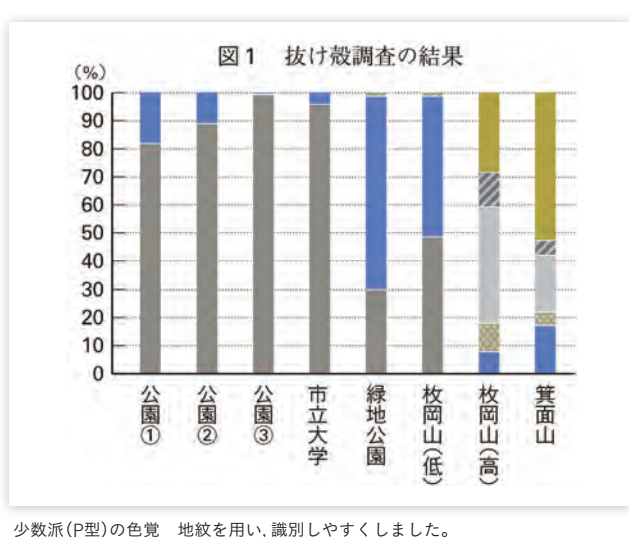
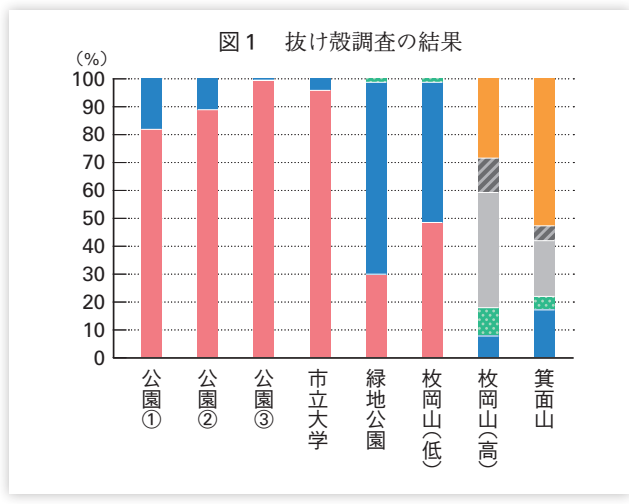
11 拡大教科書への取り組み

拡大教科書は、弱視の生徒の負担を軽減するため、活字を大きくした教科書です。光村図書は、法制化に先駆け、平成五年度版から拡大教科書の制作を続けています。単に拡大するのではなく、内容を損なわないように再構成し、文字サイズの異なる三種類を発行しています。



12 色覚特性への配慮

色覚に特性のある生徒が学習に支障をきたすことがないよう、市原恭代先生（工学院大学准教授、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構「CUDO」理事）に、全ての紙面・図版・イラストについて校閲を受け、編集しました。図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。



13 多様化・国際化

(学習指導書本冊付録C D収録)

特別支援を要する生徒や、漢字の習熟が十分でない生徒の負担を軽減するため、教科書の全ての漢字に振り仮名を付したPDFデータを、学習指導書付録C Dに収録しました。



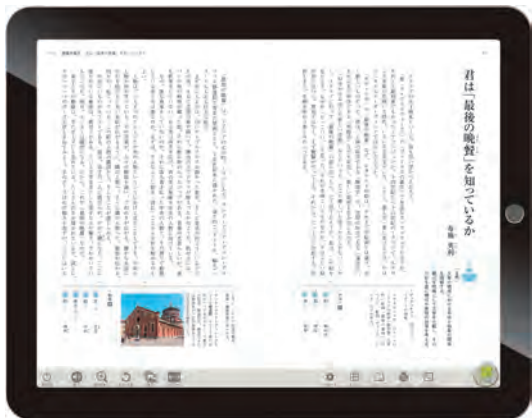
14 人権教育

●教材の選定、学習活動の設定を行うにあたって、人権教育の観点に立って編集しました。
●教材及び紹介図書の内容や表現、及び挿絵について、人権教育の専門家による校閲を受けています。
●ことわざ・慣用語など、時代性を鑑みて人権上の配慮が必要となるものには、教材中にその旨を明記し、生徒自身にも配慮を促しました。

「誰もが学びやすい教科書」に

学習者用デジタル教科書

紙の教科書と同一の内容がデジタル化されています。紙面の拡大・縮小、紙面への書き込みはもちろん、特別な支援を要する生徒のために、振り仮名の表示や機械音声での読み上げ、紙面の背景色・文字色の変更などの機能を搭載しています。



学習者用デジタル教科書の画面

制度改正により、正式に「学習者用デジタル教科書」が授業で使えるようになりました。あわせて、学びの幅を広げる資料やコンテンツを豊富に収録した「学習者用デジタル教科書＋教材」が登場。「指導者用デジタル教科書」には、授業づくりに役立つ機能を追加しました。新たな学びの可能性を、ご提案します。

学びの幅をより広げるために

学習者用デジタル教科書＋教材

学習者用デジタル教科書に、生徒の理解を助ける資料や学習を深めるコンテンツをプラスした教材です。教科書の内容をよりいっそう広げ、深めることができます。

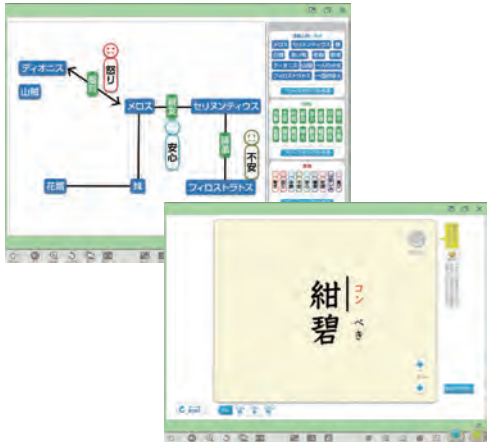


教科書紙面から、直接本文を抜き出せるコンテンツ「マイ黒板」を収録しています。

授業を徹底的にサポート

指導者用デジタル教科書(教材)

「ご好評をいただいていた「指導者用デジタル教科書」もパワーアップ。これまで同様、紙面等の拡大、写真・動画資料、フラッシュカードなどの多彩なコンテンツはもちろんのこと、先生の教材作り等に役立つコンテンツも収録。先生の授業準備をサポートします。



先生方の教材研究や授業準備の負担を軽減する、多彩なコンテンツが充実。

光村の 学習指導書

中学校国語 学習指導書 総説編

新版教科書の編集方針や教材系統の解説、年間指導計画など、基本的・体系的な資料を収録しています。

中学校国語 学習指導書

教材研究や指導展開例、「主体的・対話的で深い学び」にいざなう具体的なヒント、板書例など、授業づくりをサポートする資料を収録しています。
【付録】CD……本文テキスト、振り仮名付き本文紙面、朗読音声など。
DVD……作者・筆者へのインタビュー、「話すこと・聞くこと」の活動動画など。

中学校国語 教師用指導書(朱書)

思考・判断・表現のきつかけとなる着眼点や指導上の留意点を精選して、赤字で示しています。

中学校国語 指導事例集

経験豊かな指導者による多様な実践例を収録しています。

授業に役立つワークシート集(ワードデータを収録したCD付き)

教科書の活動をスムーズに展開できるワークシートです。

国語科における情報の扱い方のアイデア

学習指導要領で新設された「情報」の指導アイデアを紹介しています。

資質・能力を育む「深い学び」をいざなう授業のアイデア

「深い学び」をいざなう授業構想のアイデアを掲載しています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」指導のアイデア

表現活動指導のアイデアや方法論を豊富に掲載しています。

指導に役立つ古典のポイント

よりコンパクトに、わかりやすくなりました。授業で使える補充教材付き。

指導に役立つ文法のポイント

文法の基礎をポイント解説。素朴な疑問に答えるQ&Aも付きました。

編集委員

甲斐睦朗

元国立国語研究所所長

阿辻哲次

京都大学名誉教授

池上彰

ジャーナリスト

植田恭子

前大阪市立昭和中学校教諭

河合章男

俳句図書館 鳴弦文庫館長

佐渡島紗織

早稲田大学教員

田中洋一

東京女子体育大学教授

仁田義雄

大阪大学名誉教授

松野洋人

山梨学院短期大学特任教員

安居總子

元岐阜大学教授

高木まさき

横浜国立大学大学院教授

阿部昇

秋田大学特別教授

石野正彦

上越教育大学教授

甲斐利恵子

東京都港区立赤坂中学校教諭

ドナルド・キーン

コロンビア大学名誉教授

宗我部義則

お茶の水女子大学附属中学校教諭

富山哲也

十文字学園女子大学教授

藤森裕治

信州大学術研究院教授

三浦登志一

山形大学術研究院教授

森山卓郎

早稲田大学教員

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代

工学院大学准教授 NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)理事

特別支援教育に関する校閲

佐島毅

筑波大学准教授

光村図書出版株式会社

編集部